

地域とともに歩む渡田小学校 令和3（2021）年度の学校教育

かわさき教育プラン

学習指導要領 「資質・能力の三つの柱」

- 基本理念「夢や希望を抱いて
生きがいのある人生を送るための礎を築く」
- 基本目標 「自主・自立」「共生・協働」

- 知識及び技能の習得
- 思考力、判断力、表現力等の育成
- 学びに向かう力、人間性等の涵養

- ◆学校教育目標
- 目標に向かい、自分で考え進んで行動する子《やる気いっぱい》
 - 思いやりのある豊かな心で接することができる子《笑顔いっぱい》
 - 自分を振り返り、明るく健康な生活をおくれる子《元気いっぱい》

- ◆子どもの合言葉
「渡っ子は、やる気、
笑顔、元気！」
「オアシスさん
はい！」

中期学校経営目標（3～5年の目標）

分かる授業 個に応じた学習指導の充実	人権尊重教育を基盤とした 教育活動の推進	家庭や地域との連携・協力
<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶことの意義を実感させ、児童の資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ○教科等横断的な視点に立った教育課程の編成 ○教員の協力指導体制の充実及び指導力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の社会的自立に向けて必要な資質・能力の育成 ○教員と児童の信頼関係を基盤とし、児童の心に寄り添った指導の充実 ○一人一人の教育的ニーズに応じた支援教育の推進 ○児童の健康、安全の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実 ○保護者、地域、近隣校等との連携、協力 ○保護者、地域と連携した児童の安心・安全のための取組の推進 ○開かれた学校づくり

短期学校経営目標（今年度の重点目標）

教育活動ガイドラインに基づく児童の命を守る取組の徹底と健やかな学びの実現

<ul style="list-style-type: none"> ○学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の確実な育成 ○教材研究のための学年研究の時間確保と内容の充実 ○協力指導の推進による効果的な授業形態の工夫 ○「かわさきGIGAスクール構想」に基づく取組の推進 ○校内研究、研修の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○自尊感情や規範意識、学ぶ意欲、人と関わる力等を育む「キャリア在り方生き方教育」の推進 ○児童を複数の目で見守り、チームとして支援する体制の構築 ○個に応じた取り出し指導や入り込み指導の充実 ○児童の心身の健康を保持するための保健管理、環境衛生、心のケアに関する取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育力や学習環境を積極的に活用した学習活動の推進 ○PTA、町内会、地域教育会議、地域の寺子屋等との連携の充実 ○保護者、地域と連携した学校の防災力の向上及び教育環境整備の推進 ○情報発信、学校公開の工夫及び学校評価による教育改善の推進
--	---	---

重点に係る具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決のために児童が自ら動き出し、他者との協働や対話等によって考えを広げ深める授業づくりに努める。 ○学習効果を高めるため、価値ある教育実践を引き継ぎ、教科等横断的な視点に立った教育課程を編成する。 ○担任と児童がともに本に親しむ「全校読書」を実施し、学校司書と連携して読書活動を推進する。 ○児童が自信をもって「授業が分かる」と言えるよう、少人数指導、T・T、授業交換等を工夫する。 ○端末の活用を図り、情報活用能力を育成するとともに、一人一人を大切にしたい授業づくりを目指す。 ○生活・総合の校内研究を通して、児童に学ぶことの意義を実感させる。 ○互いが講師となって研修を行うなど、情報の共有を図る工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の自主的な活動や他者との関わりを通して学ぶことを重視し、自分のよさを実感させる。 ○多様性を尊重し、自他を大切にすることを育み、いじめの防止等に児童が主体的に関わる態度を育成する。 ○キャリアノートの活用及び効果測定・意識調査等の計画的な実施により、児童理解を一層深め、児童指導の充実を図る。 ○個別の指導計画を作成するとともに、児童支援COを核として情報を共有することにより、切れ目のない適切な支援を進める。 ○養護教諭、栄養職員と連携して保健指導、食育を実践する。 ○運動する楽しさを味わうことを大切にしながら、体力づくりの目標を具体化し実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での学習習慣を確立するため、課題を十分に精査し、家庭学習課題一覧表の配付を継続する。 ○地域の教育力や学習環境を積極的に活用し、児童の地域の一員としての自覚を育てる。 ○校舎や通学路等の安全点検を定期的に実施する。 ○教職員・児童の安全対応能力の向上を図る学習や研修を実施する。 ○事前指導を徹底することによりけがの未然防止に努める。 ○地域の実態に即した想定のもと、実践的な防災訓練を実施する。 ○学校HPや配信メールを活用し、情報発信の効果を高める。 ○学校評価を保護者・地域の連携・協力のもと行うとともに、目標の実現状況を定期的に検証し、次年度の計画立案に生かす。
---	--	---